

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和元年 5月 9日 (木)
- 2 確認箇所
H9タンクエリア
- 3 確認項目
フランジ型タンク及び外堰の現況
- 4 確認結果の概要

(1) フランジ型タンクの現況

フランジ型タンクは漏えい対策を強化して使用していることから、中長期ロードマップでは「浄化設備等により浄化処理した水の貯水は2018年度内に全て溶接型タンクで実施する」とされている。平成30年11月にはストロンチウム処理水の浄化処理、平成31年3月には多核種除去設備等処理水の移送が完了して目標を達成したが、1～3号機原子炉注水に使用する処理水や5・6号機建屋滞留水の処理水等の貯留では、当面フランジ型タンクが使用される予定となっている。

フランジ型タンクの使用継続に当たってはタンク側面のフランジ部等に補修塗装を実施する漏えい対策が順次実施されていることから、全てのフランジ型タンクを確認することとし、今回はRO処理水(淡水)^{*}が貯留されているH9エリアのフランジ型タンク(A1)の現況を確認した。

- ・目視で確認したところ、貯留水漏えいに繋がる亀裂等は確認されなかった。(写真1)

※汚染水を炉注水として使用するために淡水化装置で塩分を取り除く処理をした水

(2) 外堰の現況

漏えい拡大防止対策として、内堰に加え外堰による二重化をしており、今回は外堰の現況について確認を行った。

なお、H9エリアの外堰は土堰堤・法面方式及び擁壁方式の2種類の方式により設置されている。

- ・土堰堤・法面方式の外堰は土堰堤にシートを被せることによってできており、目視で確認したところシートの破損や剥離等は確認されなかった。(写真2-1)
- ・擁壁方式の外堰についても目視で確認したところコンクリート壁に劣化等は確認されなかった。(写真2-2)



(写真1)



(写真2-1)



(写真2-2)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。